

## 第1回武道館機能を有する多目的施設整備基本計画検討委員会での主な意見

### ●施設規模・機能について

- ・ 検討会の議論では、既存の富山と高岡の武道館が老朽化し、空調設備もなく手狭ということだった。新しい施設は、両武道館の機能を集約するものとしてほしい。
- ・ 選手の育成や観客の拡大に力を入れてほしい。また、情報技術の活用により、武道を含めたスポーツへの関心や理解を深める工夫をしてほしい。
- ・ 費用対効果を考えて、より効果的な施設、多くの県民または県外者、時には国際的な試合もできるような、いろいろな意味で県民にとって身近な施設ができれば良い。
- ・ 新しい施設は、多目的施設として、できるだけ日常から県民がその場所に通ってその施設を使えるような、ソフトウェアの方も考えながらやっていかなければいけないと思う。日常的に使えらるればそこを使う楽しみが出てくる。また、検討会の取りまとめの中にはランニング走路などもあるので、近年は富山マラソンなどに大勢の人が参加していることを考えると、そういった施設が整備されれば日常的に利用されるので重要だと思う。
- ・ 武道ができる機能を有した多目的な施設の多目的なスペースでは、あらゆるインドアのスポーツができるようにぜひしていただきたい。また、スポーツを見るときに、判定の決定的な瞬間というのは、非常に分かりづらいので、最近では映像設備を取り入れて観客がビジュアル的に分かるようにして、スポーツをより理解しやすいような設備を常設している体育施設が増えてきているので検討いただきたい。
- ・ どのような名称を付けるのか、多目的利用ということなので難しいとは思いますが、全国ほとんど県立・県営という名の武道館があるので、武道館という名前をぜひ付けてほしい。

### ●施設整備候補地及びその選定基準について

- ・ 多くの県民に利用されるような工夫が必要。また、新川地域の子供達のことも考えると交通の利便性の高い富山市で整備を進めてほしい。
- ・ 立地場所は、競技をする立場からは、交通の便の良いところが第一条件であり、大会を開催する際に、県内各地から集まりやすい富山市内がいい。
- ・ 立地場所は、子供達や生徒や学生、運転できない人も自分で行くことができる富山市が良い。県外からの来場者が宿泊施設を確保しやすい富山駅周辺や富山市内が望ましい。
- ・ 立地場所は、県営スポーツ施設の地域東西バランスも加味して検討してほしい。
- ・ 立地場所の選定については、富山駅から徒歩圏内または富山駅周辺がベストだと思うが、富山市内で適地がなければ、他の利便性の高い場所も検討してほしい。
- ・ 早く候補地を探して確保していただき、一日も早く武道館を有する多目的施設が完成するよう急いでいただきたい
- ・ 県内から競技者が集うということを考慮すると、県全域からのアクセスが良い場所がよく、県の真ん中辺りになるのではないかと。また、多目的で観客の方が集まるのであれば、県内全域から公共交通を利用するので、公共交通が結節するような地点・都市がベストなのではないか。